

交換留学（派遣）近況報告書

.....

留学先大学 : ボローニャ大学
 留学先での所属学部・研究科 : Scuola di Lettere e Beni Culturali
 留学先での在籍身分 : Studente di scambio
 留学期間 : 2017 年 1 月 ~ 2018 年 1 月
 神戸大学での所属学部・研究科 : 人文学研究科
 学年（出発時） : 博士3年
 本報告書記入日 : 2017 年 5 月 8 日

1. 出発前について

1-1. 交換留学以前に海外留学の経験はありますか。

はい いいえ

「はい」と答えた方は、留学先及び留学期間についてご記入ください。

<国名> ヴェネツィア大学 <期間> 2012年9月～2013年6月

1-2. 交換留学プログラムを最初にどのように知りましたか。

<input type="checkbox"/> 国際教育総合センターの教員	<input type="checkbox"/> 所属学部・研究科の教員	<input type="checkbox"/> 友人
<input type="checkbox"/> 以前に参加した先輩	<input checked="" type="checkbox"/> 所属学部・研究科の掲示板	<input type="checkbox"/> 神戸大学のホームページ
<input type="checkbox"/> 留学フェア	<input type="checkbox"/> その他（具体的に）	

1-3. この交換留学プログラムに参加した動機を教えてください。最もよく当てはまる動機を「4つ」選び、

1～4まで順位を付けてください。（1：最も強い動機）

1 学術的な目的（研究を深める等）	4 地理的な条件が良い
_____ 語学力の向上	_____ 旅行ができる
_____ 将来のキャリアのため（就職に役立つ等）	2 プログラムの時期が良い
_____ 家族のバックグラウンドと関係がある	3 プログラムの期間が良い
_____ 異文化体験	_____ 経費が安い
_____ 個人的な理由	_____ その他（具体的に）

1-4. VISAについて

VISAの種類 : 就学ビザ

申請先 : 在大阪イタリア総領事館

必要日数 : 約1カ月

VISA取得にかかった費用 : 約7000円

VISA申請のためにどのような書類の提出を求められましたか。どのように準備しましたか。

証明写真付きの申請用紙、パスポートとそのコピー、住民票、住居に関する書類（今回は賃貸契約書の原本を提出）、留学資金の入っている通帳とそのコピー（申請直前の預金出入の記録が必要）、ボローニャ大学からの入学許可証原本、神戸大学からのビザ発給依頼書、交換留学協定書のコピー、学研災付海外留学保険の契約書

1-5 出発前に必要とされた予防接種の種類・回数・費用

なし

1-6. その他に必要だった手続き、方法、料金等

ビザ申請時にイタリアでの大家の身分証明書のコピーの提出を求められ、後にPDFファイルをメールで総領事館に提出した。

2. 留学先到着後の手続きについて

2-1. 到着時について

利用航空会社 : ルフトハンザドイツ航空

利用旅行会社 (航空券の手配をした会社) : H.I.S.

留学先大学最寄り空港名 : ボローニヤ・ボルゴ・パニガーレ 空港

空港到着時間 : 23 時頃

空港からの移動手段 : 大学手配の出迎え 知人の出迎え 公共交通機関 バス、鉄道 タクシー
その他 (具体的に) _____

移動の所要時間・料金 : 30 分, 25ユーロ

空港からの移動の際の注意点 :

鉄道ボローニヤ駅まではバスが運行している。

2-2. 留学生向けオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無 : 有り 無し参加について : 必須 任意参加参加費用 : 無料 有料 (金額 :)

内容について記入してください。

授業の検索・登録の方法、および試験の受験方法。

2-4. その他、渡航してから必要な手続きについて

現地で滞在許可書申請は必要ですか。必要な場合、申請方法、料金、取得に係る日数等を記入してください。

滞在許可証の申請が必要。大学へのチェックインの際に、指定の申請代行業者との予約を入れてくれるの
で、その指示に従う。入学許可証、海外保険契約書（どちらもビザ申請の際に提出し、総領事館の印が押さ
れているもの）、パスポート、およびこれら全てのコピーが必要。5月8日時点でもまだ取得できていない。

その他現地でした手続きは？（健康診断、予防接種等）有れば、方法、料金等を記入してください。

特になし。

3. 語学力向上のためのコースについて

3-1. 語学力の向上のために、大学等のコースに参加しましたか。参加した場合、大学（語学学校）名、コース名、
料金、期間等を記入してください。

参加していない。

留学先大学：ボローニャ大学

留学先での所属学部・研究科：Scuola di Lettere e Beni Culturali

留学先での在籍身分：Studente di scambio

留学期間：2017年1月～2018年1月

神戸大学での所属学部・研究科：人文学研究科

学年（出発時）：博士3年

本報告書記入日：2017年5月8日

出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

ボローニャ大学のホームページを主に参照した。

住居について

・住居のタイプ：□大学寮 □アパート □ホストファミリー □その他（具体的に）_____

住居（寮、アパート）の名前：

・部屋の種類：□一人部屋 □二人部屋 □その他（具体的に）_____

・ルームメイト：□現地学生 □留学生（出身国：_____） □その他（具体的に）_____

・どのように探しましたか。：□大学の斡旋 □自分で探した □その他（具体的に）_____ 大学の斡旋するサイトから、自分で探した

・大学までの通学時間・手段：30分、バス

・住居の周りの環境はどうですか。：

郊外なので、比較的静か。周辺にはスーパー・マーケットやコインランドリー、銀行があり、とりたてて生活に不便することはない。

・毎日の食事はどうしていますか。：

住居に台所がないため、基本的にスーパー・マーケットの惣菜を購入している。

・住居は渡航前に、または渡航後すぐにみつかりましたか。トラブルはありませんでしたか。：

大学の斡旋するサイトに掲載されている大家の連絡先にメールを送ったところ、すぐに返信があり、早期に契約することができた。ただ、後に周囲の留学生から聞いたところ、返信の早さについては、大家により個人差がある模様である。

大学の授業について**1. 履修登録について**

・履修登録の時期：□出発前 □到着後

・履修登録の方法：□On-line □International Office等の仲介 □その他（具体的に）_____

・登録時に留学生として優先・配慮されることはありませんか。：□無し □有り

・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

・希望通りの授業が履修できましたか。：□はい □いいえ

・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名 (現地語・和訳)	教授名	時間数 ／週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	Storia politica・ 政治史	Angela De Benedictis	6	6	約25人	オンラインで教材文献が配布されるので、適宜 予習をしてから授業に臨むことが推奨される。
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

クラスのサイズは授業により異なるが、大体20~40人ほどの講義が多い。試験は教授との面接形式で、指定された文献や授業の内容などについて議論する。

一週間のスケジュール (授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。)

	月	火	水	木	金	土	日
8:00							
9:00	家で研究	家で研究	家で研究	家で研究	家で研究	部屋の掃 除	
10:00						近所で買 い物	
11:00	昼食（食 堂）	昼食（食 堂）	昼食（食 堂）	近所で買 い物	近所で買 い物	近所で買 い物	近隣の街 や史跡を 観光
12:00				昼食	昼食	昼食	
13:00	授業開始	授業開始	授業開始	授業開始	家で研究	家で研究	
14:00							
15:00	授業終了	授業終了	授業終了	授業終了	家で研究	コインラ ンドリー で洗濯	
16:00							
17:00	図書館で 調べもの	図書館で 調べもの	図書館で 調べもの				
18:00							
19:00	帰宅・夕 食	帰宅・夕 食	帰宅・夕 食	夕食	夕食	夕食	
20:00							
21:00							
22:00							

現在までの感想　自由に記入してください。(800字~)

研究面に関しては、各地の文書館で撮影・複写した史料を家のパソコンで読み進めていく作業を主に行っているため、基本的に家での研究が多くの時間を占めている。ただ、ボローニヤには大学図書館、および公立・私立の図書館が多数存在しており、必要な文献をほぼ全てボローニヤ市内で入手できることは、ボローニヤで研究を行う大きな利点であると言うことができる（また、私はまだ利用したことはないが、イタリアの大学図書館の間での相互貸借・取り寄せ制度も整備されている模様である）。授業に関しては、自身の研究もあり、多くに参加することはできていないが、地元のボローニヤの歴史や自身の研究対象と同時代の歴史に関する授業を、履修していくとも時間が合えばなるべく聴講するように心がけている。また、ボローニヤ大学歴史学科のサイト・facebookの情報をもとに、ボローニヤで開かれる研究会・学会にもなるべく参加するようにしている。これらの授業・研究会を通して、自分の研究対象の地域を超えたイタリア史の同時代性がおぼろげながら見えてきており、自身の研究の展望がボローニヤ大学留学を通して広がりつつあると言えよう。

生活面に関しては、今回は都市の郊外に住居を借りることになったものの、不自由なく生活を送ることができている。ボローニヤは市内のバス網が整備されており、バスの利用の仕方に慣れさえすれば、通学に関しては郊外からでも問題はないように思われる。食事については、住居に台所が設置されていないので、基本的に近所のスーパー・マーケットの惣菜を購入している。また、都市中心部に行く日には、大学食堂を利用しておらず、比較的安く食事をすることができている。衣服の洗濯については、近所のコインランドリーを利用している（もっとも、民間のコインランドリーは料金が安いとは言えず、あまり頻繁に洗濯をすることはできない）。以上のように、郊外に住居を借りる際には、周囲のバス停や商店・施設（スーパー・マーケット・コインランドリー・銀行など）の状況を考慮するのがよいと思われる。

全体として、ボローニヤの人々は、中世以来の大学街として、外国人留学生を受け入れることに非常に慣れている印象がある。特に、留学開始後すぐに行う必要がある滞在許可証の申請に関して、ボローニヤ大学は申請代行業者と契約しており、留学生は綿密な支援を受けることができる。さらに、申請書類を取り扱う郵便局や警察もこの手続きを熟知しており、スムーズに手続きを進めてくれる（これらのこととはイタリア国内でも稀な環境だと思われる）。他方、ボローニヤ大学には多様な国から留学生が来ているものの、日本人留学生の数はそれほど多くはない。また、ボローニヤには日本人の観光客も住民も多くなく、殊更日本人に対する特別な扱いを期待することはできない。それゆえ、イタリアや他国の有名な都市と比べても、日本人コミュニティの中だけではなく、様々な国的学生と関わり、異なる論理を持つ社会の中で生活をする経験を否応なしにできる都市であると言えよう。